

日本の保護者「プログラミングは大切」77% 「計算力」「読解力」は 98%以上 海外との差も明らかに スプリックス教育財団 国際基礎学力調査より

スプリックス教育財団 基礎学力と学習の意識に関する保護者・子ども国際調査 2025

公益財団法人 スプリックス教育財団（本部：東京都渋谷区／代表理事：常石 博之）は、「基礎学力と学習の意識に関する保護者・子ども国際調査 2025」を実施しました。今回の第 3 回報告では、特に基礎学力としての「プログラミング」に焦点を当てます。調査結果のポイントは以下のとおりです。

調査結果のポイント

① 日本では保護者の 77%が「プログラミングは大切」と回答するも、それよりも計算力と読解力を重視する傾向

日本の小中学生および保護者は「プログラミングをできるようになることは大切だと思う」に肯定的な回答が多数派でした。しかし、保護者の 77%が「プログラミングは大切」に肯定する一方、「計算力は大切」「読解力は大切」に 98%以上の保護者が肯定的で、「計算力」「読解力」を重視する傾向が見られました。

② 国際的にはプログラミングを重視する保護者が 95%以上の国も

他国の調査結果と比較すると、「プログラミングをできるようになることは大切だと思う」に対してエクアドル、ペルー、エジプト、インドネシアの保護者の 95%以上が肯定的で、日本以上にプログラミングを重視する傾向がありました。

調査方法

【調査時期】	2025 年 4 月～ 8 月
【調査対象】	世界 6 か国の小学 4 年生および中学 2 年生相当の子どもと、その保護者
【調査方法】	調査参加校の教室での実施
【回収サンプル数】	

国名	小 4	中 2	保護者
エクアドル			173
ペルー	68	59	77
エジプト	45	37	86
インドネシア	126	138	90
ネパール	80		105
日本	382	94	293

- ※ 2025 年 9 月 10 日時点での回収状況を示しております。
- ※ 一部の国では対象学年の前後を含みますが、本報告書内では便宜上「小 4」「中 2」と表記します。
(ペルー：小 4～5 相当、エジプト：小 3～小 5 相当)
- ※ 回答者はランダムに抽出されたものではありません。
そのため、便宜上「国名」として記載していますが、特定の地域や学校の結果であることにご留意ください。
- ※ 有効回答数が 30 件以上のグループのみ分析対象としました。
- ※ 本リリースに関する内容をご掲載の際は、必ず「スプリックス教育財団調べ」と明記してください。

調査結果

(1) 日本では保護者の 77%が「プログラミングは大切」と回答するも、それよりも計算力と読解力を重視する傾向

「プログラミングをできるようになることは大切だと思う」かどうかを「計算力」や「読解力」と比較して小学4年生（以下小4）・中学2年生（以下中2）の子どもおよび保護者に尋ねました。図1の日本の回答について見ていきます。

日本の小4・中2・保護者は、「プログラミングをできるようになることは大切だと思う」について、「そう思う」または「ややそう思う」という肯定的な回答をした人が多数派でした。しかし、保護者の 77.1%が「プログラミングは大切」に肯定する一方、「計算力は大切だと思う」には 98.3%、「読解力は大切だと思う」には 99.7%が肯定的でした。小4・中2も同様の傾向で、日本では「プログラミング」を重視する人は多数派ですが、「計算力」や「読解力」をより強く重視していることがわかりました。

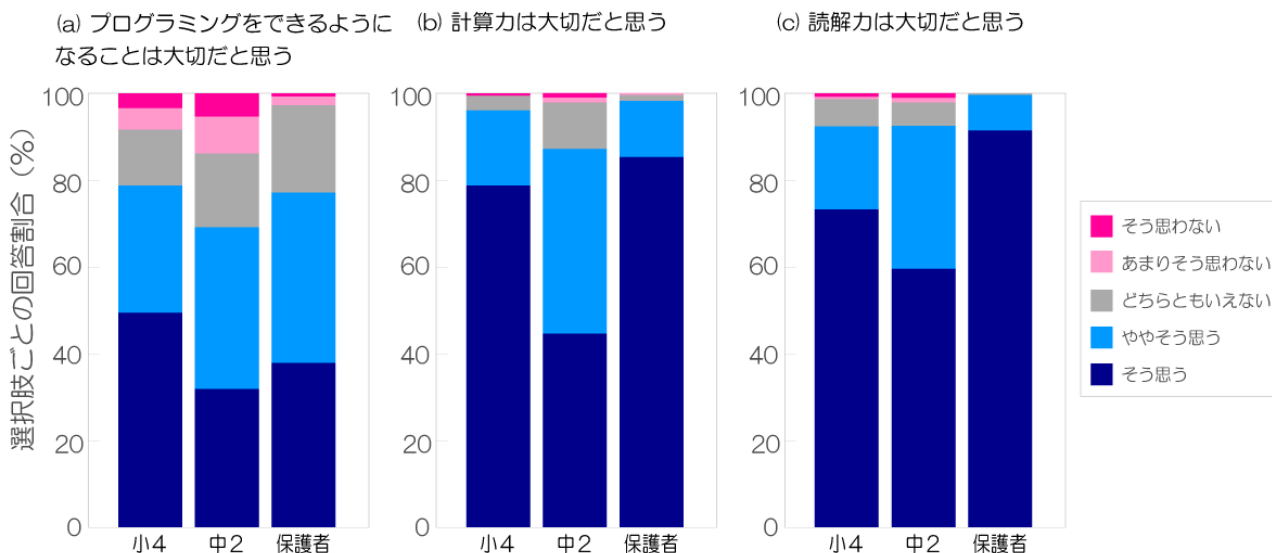
また、小4と中2で比較すると、中2のほうが肯定的な回答をする割合が低い傾向にありました。これは、学年が上がるごとに基礎的な学力に懐疑的な意見が多くなっている可能性を示唆しています。

図1

公益財団法人
スプリックス教育財団
SPRIS EDUCATION FOUNDATION

勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか。

回答者：日本の小学4年生・中学2年生・その保護者



ポイント

日本では「プログラミングは大切」と認識するも
計算力や読解力をより重視

図1. 「勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか」に対する、**日本**の子ども（小4）/子ども（中2）/保護者の回答比較

(2) 国際的にはプログラミングを重視する保護者が 95%以上の国も

では、この傾向は他の国ではどうでしょうか。同様の調査を行った 5 か国（エクアドル、ペルー、エジプト、インドネシア、ネパール）の結果と比較しました。各国の保護者が「計算力/読解力/プログラミングは大切だと思う」に「そう思う」または「ややそう思う」と肯定的な回答をした割合を比較した結果を図 2 に示します。

「計算力」や「読解力」は日本を含むすべての国で 90%以上の保護者が「大切」と回答しました。一方、「プログラミング」については、エクアドル、ペルー、エジプト、インドネシアの保護者は「計算力」や「読解力」と同様に 95%以上が「大切だと思う」に肯定的な回答をした一方で、ネパールの保護者は 84.8%、日本の保護者は 77.1%が肯定的な回答を示しました。

多くの国で「計算力」「読解力」と同様に「プログラミング」を重視している一方で、一部の国では「プログラミング」はそこまで重視されておらず、特に日本はその割合が比較的低いということがわかりました。

なお、この傾向は、小学 4 年生、中学 2 年生でも同様でした。詳細なグラフについては添付の PDF をご参照ください。

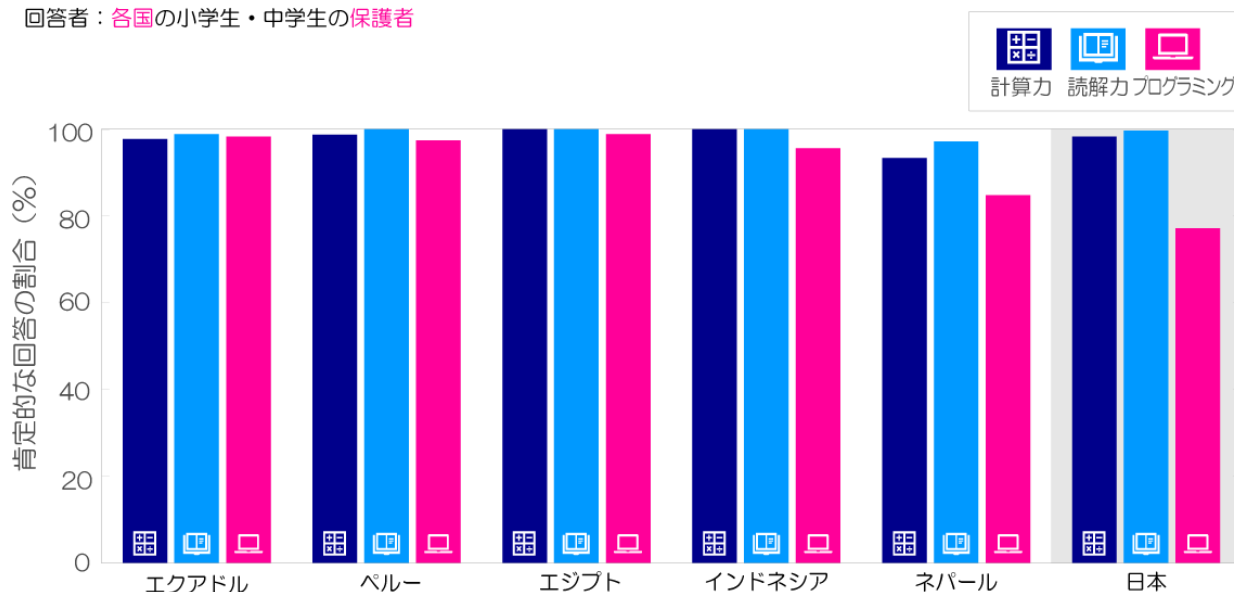
図 2

公益財団法人
スプリックス教育財団
SPRIX EDUCATION FOUNDATION

勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか。

計算力は大切だと思う / 読解力は大切だと思う / プログラミングをできるようになることは大切だと思う

回答者：各国の小学生・中学生の保護者



ポイント

計算力・読解力と同程度プログラミングを重視している国も多いが
日本含む一部の国ではそこまで重視していない

図 2. 調査対象各国において「勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか」に対して、「そう思う」または「ややそう思う」と肯定的な回答をした保護者の割合比較

まとめ

今回は、「プログラミング」の大切さについて子どもと保護者に尋ね、「計算力」「読解力」と比較しました。その結果、いずれの国でも「プログラミングは大切」とする回答が多数派ではあるものの、日本を含む一部の国では「計算力」「読解力」ほどは重視していない傾向が見られました。

日本では 2020 年より小学校でプログラミング教育が必修化され、2025 年の大学入学共通テストの出題科目に「情報 I」が設定されるなど、プログラミング教育の充実が図られています。しかし、この結果は、日本でプログラミング教育を進めるにあたり、意欲的ではない層が一定数いることを示唆します。

プログラミングに関する意欲は、今後のプログラミング教育の普及や、生成 AI のさらなる普及や発展に伴い変化する可能性があります。今後の調査では、①各国におけるプログラミング教育の目的と、②プログラミング教育や生成 AI の普及に伴う意識の変化の双方を検証します。

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

公益財団法人スプリックス教育財団 担当 : 調査窓口 秦・三村

所在地 : 〒150-6222 東京都渋谷区桜丘町 1-1 渋谷サクラステージ SHIBUYA タワー22F

URL: <https://sprix-foundation.org/> E-mail: survey@sprix-foundation.org

付録

調査方法の詳細

株式会社スプリックスが実施した学校調査。児童・生徒は学校の教室にて、保護者は自宅等で、WEB（パソコン・タブレット・スマートフォン等）により回答。

※「基礎学力と学習の意識に関する保護者・子ども国際調査 2025」では、調査会社を利用した調査を一部の国で実施していますが、本設問はパネル調査には含まず学校調査のみで調査いたしました。

調査項目※今回報告した項目のみ記載

質問：お子様の勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか。それぞれあてはまるものをお知らせください。（保護者対象）

- (a)「プログラミングをできるようになることは大切だと思う」
- (b)「計算力は大切だと思う」
- (c)「読解力は大切だと思う」

選択肢：そう思う/ややそう思う/どちらともいえない/あまりそう思わない/そう思わない

質問：勉強に関する以下の文章について、あなたはどの程度そう思いますか。（子ども対象）

- (a)「プログラミングをできるようになることは大切だと思う」
- (b)「計算力は大切だと思う」
- (c)「読解力は大切だと思う」

選択肢：そう思う/ややそう思う/どちらともいえない/あまりそう思わない/そう思わない

補足データ

本報告の図 2 では保護者の結果を取り上げましたが、参考として、小学 4 年生・中学 2 年生の子どもに対する調査結果もご紹介します。調査対象国およびサンプル数の詳細については、本文の「調査方法」をご参照ください。

図 A1・A2 は、本文の図 2 に対応するもので、それぞれ小学 4 年生、中学 2 年生の回答を分析しています。サンプル数のため、一部の国は集計対象外としています。

図 A1 の小学 4 年生では、「計算力」「読解力」では日本含めたすべての国で 80%以上が肯定的な回答をしているのに対し、「プログラミング」では、ネパールと日本は肯定的な意見が 80%を下回っています。それ以外の国は、プログラミング・計算力・読解力での肯定的な割合は大きな差が見られません。

図 A2 の中学 2 年生では、「計算力」「読解力」では日本の「計算力」（87.2%）を除いたすべての国で肯定的な意見が 90%を超えていました。「プログラミング」では、インドネシアが 81.2%とやや肯定的な割合が下がったものの、日本の 69.1%ほどではなく、やはり相対的に日本の子どもはプログラミングを重視していない傾向が示唆されました。

なお、日本では小学 4 年生に対し中学 2 年生のほうが肯定的な回答の割合が低い傾向にありましたが、それ以外の国においては日本ほどの大きな差はみられませんでした。

本調査は同一の子どもを追跡したものではなく、学年段階ごとの横断的比較に基づくものです。また、一部の国では調査対象が国内の 1, 2 校に限る場合もあるため、国を代表する意見とはいえないことにご留意ください。今後は、同一集団を継続的に調査することで、学年の進行に伴う経年変化をより明確に捉えていくことが重要だと考えています。

図 A1 勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか。

計算力は大切だと思う / 読解力は大切だと思う / プログラミングをできるようになることは大切だと思う

回答者：各国の小学4年生

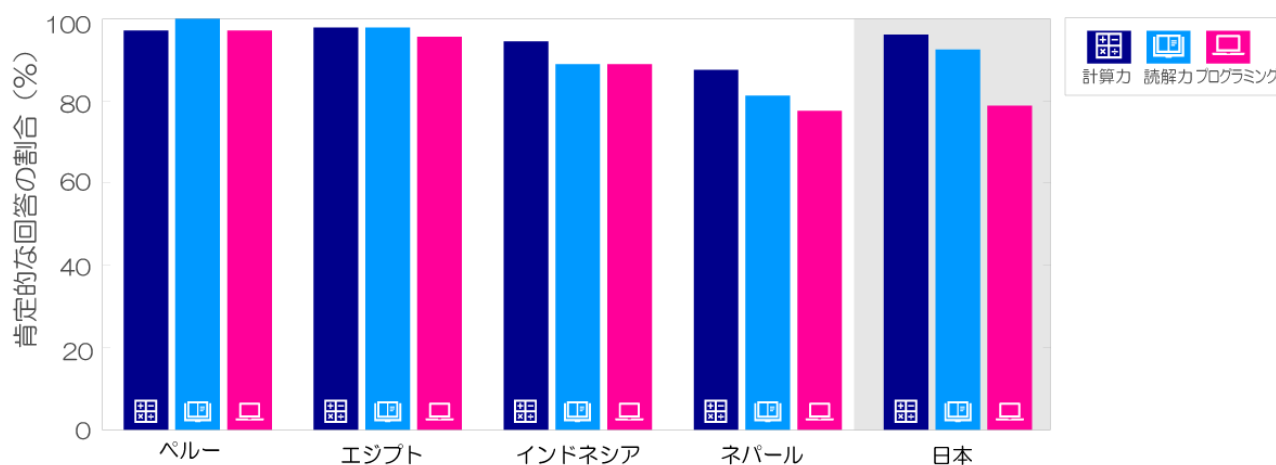


図 A1. 調査対象各国において「勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか」に対して、「そう思う」または「ややそう思う」と回答した小学4年生の割合比較

図 A2 勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか。

計算力は大切だと思う / 読解力は大切だと思う / プログラミングをできるようになることは大切だと思う

回答者：各国の中学2年生

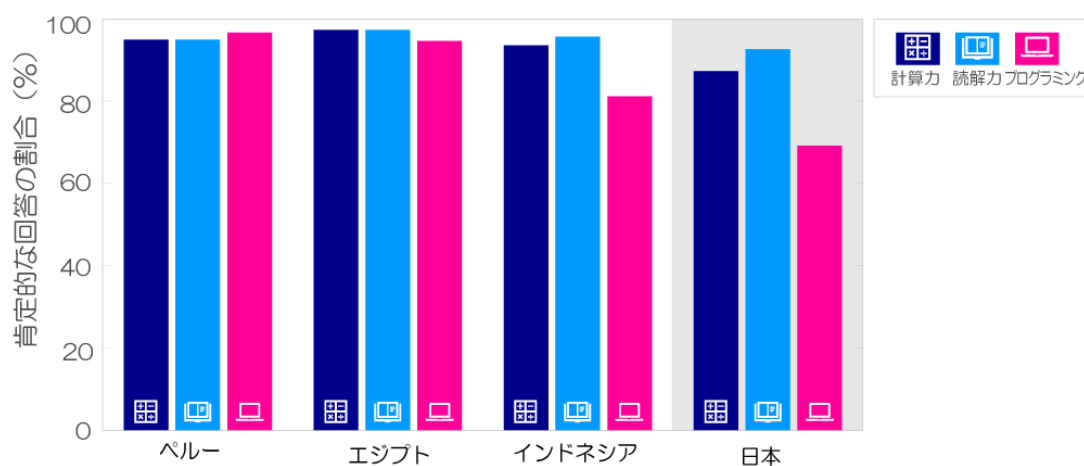


図 A2. 調査対象各国において「勉強に関する以下の文章について、どの程度そう思いますか」に対して、「そう思う」または「ややそう思う」と回答した中学2年生の割合比較

議論

日本以外の国ではプログラミングは教科教育に含まれるのでしょうか。Raspberry Pi の調査^[1]によると、2024 年時点でエクアドル、エジプト、インドネシア、ネパールではコンピューターサイエンスは計画中、ペルーでは未計画中、必修である国は今回の調査対象では日本のみとのことでした。ただし、インドネシアでは 2025 年に必修の教科書が制定されており^[2]、ネパールでは選択ではあるもののプログラミングを含む情報の教科書が制定されています^[3]。

「プログラミングをできるようになることは大切だと思う」と回答した割合が「読解力」「計算力」よりも低い傾向がある国（日本、ネパール、インドネシア）では、プログラミングが学校教育に採用されているという点があります。（それ以外の国については、ICT 教育に関する情報はあるものの、プログラミング教育については全国一律での教科に関する情報は確認できませんでした。）プログラミング教育が教科化した影響により、反対意見も明確になってきている可能性を示唆しています。生成 AI 時代において、国が児童・生徒全員にプログラミングを教える必要はどれほどあるのか。今後の意見の推移にも注視してまいります。

参考文献：

- [1] Claire Johnson “Two-thirds of countries worldwide offer some form of computing in the school curriculum” The Raspberry Pi Computing Education Research Centre, 8th Jan 2025. <https://computingeducationresearch.org/computing-education-around-the-world-data/>（閲覧日：2025/10/15）※ページ内の CSEd provision 2024 を参照。
- [2] Badan Standar, Kurikulum, dan Asesmen Pendidikan Kementerian Pendidikan Dasar dan Menengah Republik Indonesia 2025 " PANDUAN Metya Pelejaran Informatika Fase D-F" <https://kurikulum.kemdikbud.go.id/file/panduan/dokumen/32.%20Panduan%20Mata%20Pelajaran%20Informatika.pdf>（閲覧日：2025/10/15）
- [3] Government of Nepal Ministry of Education, Science and Technology Curriculum Development Centre "Computer Science Grade10" https://learning.cehrd.gov.np/pluginfile.php/259/mod_resource/content/1/compscience10.pdf（閲覧日：2025/10/15）

スプリックス教育財団および調査会社の説明

公益財団法人スプリックス教育財団（<https://sprix-foundation.org/>）

公益財団法人スプリックス教育財団では、金銭的な理由による学習機会の喪失を防ぐため、支援を必要とする若い世代への奨学金の支給を行います。また調査研究事業として、教育の側面から諸問題に対する調査・研究を行い、これらの問題を社会で考える足掛かりを提供したいと考えています。

東京本部：東京都渋谷区桜丘町 1-1 渋谷サクラステージ SHIBUYA タワー 22F

株式会社スプリックス（<https://sprix.inc/>）

株式会社スプリックスは、生徒に自信を与え、学習能力を高めることで将来の見通しを向上させることを使命として、1997 年に日本で設立されました。当社は、業界をリードする個別指導塾、教科書と教材、スキルのテスト、オンライン教育プラットフォーム、そして学術研究を含む幅広い教育サービスを提供しています。